

教えて  
ドクター

テーマ:内痔核(いぼ痔)

# 切らずに治療し、予後も良好 新しい硬化療法に期待高まる

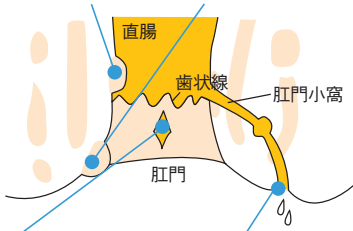
## 痔核

### 内痔核

歯状線より上にできる痔核。知覚神経がないため、痛みは感じないが、排便時に出血や脱出が。

### 外痔核

歯状線より下にできる痔核。排便時に脱出しやすく、痛みを伴うことが多い。



### 裂肛

硬い便や下痢などで、肛門の皮膚が切れたり裂けたりする状態。強い痛みを伴う。

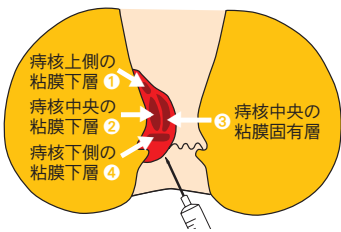
### 痔ろう

肛門小窩にたまったうみを排出するために、うみの穴ができる。痛みを伴い手術が必要となる場合が。

## ジオン注硬化療法(ALTA法)

図のように、4段階で薬液を注射します。難易度の高い手技が必要のため、内痔核治療法研究会の講習を受けた医師が治療を行います。

治療施設は内痔核治療法研究会のホームページ(<http://zinjection.net/>)を参考に。



多田 現在、若い世代の大腸がんの発症例が増えています。出血が見られ「痔だろう」と考えたら「痔だろう」と考えず、ぜひ専門医を受診しましょう。

時任 診察の際は女性スタッフをかけて患部だけを診るの、恥ずかしいものではないです。また痔の治療というと、手術がイメージされがちですが、ALTA法も登場し、切らずに治す方が主流です。怖がらずに受診してください。

出血があったら必ず  
専門医に相談を

ただともひろ胃腸科肛門科  
理事長・院長 多田智裕先生

—内痔核が最も多いことですが、すべてコブが脱出するのですか？  
多田 いえ、痔核は4段階に分類されます。I度は痛みがなく、ときどき出血する状態。II度はいきむと脱出するけれど、自然に元に戻る状態。III度は脱出して自然に戻らず、指で戻す必要がある状態。IV度は常に脱出したままの状態です。I度の場合、薬物療法で症状が軽くなりますが、II度、III度となると薬だけでは間に合いません。近年はジオン注硬化療法(以下ALTA法)など

ALTA法とは？  
時任 3年前に始まった画期的な硬化療法です。簡単にいうと、内痔核に硬化剤を直接注射し、その場で小さく固めてしまおうという方法です。痔核に入ってくる血液、痔核本体、周囲の緩んだ粘膜と支持組織、それぞれに注射するという理にかなった治療法で、長期にわたって作用が望めるのが特徴です。  
多田 肛門に麻酔を行って、痔核に注射します。手術に比べてはるかに出血や痛みが少なく、入院もせいせい1〜2泊と、短期間で済みます。  
時任 ただし、注射には非常に難しい手技が必要です。そのため現在、内痔核治療法研究会の講習修了者のみが治療を行うことになっています。  
※修了者のいる医療機関は研究会のサイトで検索可能です。  
<http://zinjection.net/>

ときとうクリニック  
理事長・院長 時任敏基先生



横浜市立大学医学部卒業。同大学第2外科学教室、理化学研究所、東葛辻仲病院勤務を経て、平成11年、さいたま市緑区大門にクリニック開業

日本人の3人に1人が悩んでいるといわれる痔(じ)。身近な疾患ですが、症状の背後に大腸がんなど、重い病気が潜んでいることもあります。自己判断せず受診することと、正しい知識を持つことが大切です。今回は、時任敏基先生と多田智裕先生に、症状や最新治療などを話していただきます。

—肛門の周囲に起こる疾患で多いのは、どのような病気でしょうか？  
多田 痔核(いぼ痔)と裂肛(きれ痔)、痔ろう(あな痔)が多く、三大疾患と呼ばれています。中でも痔核が一番多く、全体の6〜7割を占めます。時任 痔核とは排便など

—内痔核が最も多いことですが、すべてコブが脱出するのですか？  
多田 いえ、痔核は4段階に分類されます。I度は痛みがなく、ときどき出血する状態。II度はいきむと脱出するけれど、自然に元に戻る状態。III度は脱出して自然に戻らず、指で戻す必要がある状態。IV度は常に脱出したままの状態です。I度の場合、薬物療法で症状が軽くなりますが、II度、III度となると薬だけでは間に合いません。近年はジオン注硬化療法(以下ALTA法)など

—内痔核が最も多いことですが、すべてコブが脱出するのですか？  
多田 いえ、痔核は4段階に分類されます。I度は痛みがなく、ときどき出血する状態。II度はいきむと脱出するけれど、自然に元に戻る状態。III度は脱出して自然に戻らず、指で戻す必要がある状態。IV度は常に脱出したままの状態です。I度の場合、薬物療法で症状が軽くなりますが、II度、III度となると薬だけでは間に合いません。近年はジオン注硬化療法(以下ALTA法)など

弱を占めるのが、肛門の周囲にうみがたまり、外に流れ出る穴ができてしまう痔ろうです。  
—自覚症状にはどのようなものがありますか？  
多田 出血や痛み、痔核の場合、肛門から出てしまうことで邪魔になるなどです。痔そのものは、放置しておいても命にかかわる病気ではありません。しかし痔核が邪魔だするならば、出血が外に出るために、出血が外に出るならば、受診してほしいものです。

## 肛門疾患で一番多いのが痔核

## 内痔核の新しい治療法は 痛みが少なく入院は短期